

世界に誇る地域発研究開発・実証拠点 (リサーチコンプレックス) 推進プログラム

平成28年度予算案 : 15億円
 (平成27年度予算額 : 18億円)
 ※運営費交付金中の推計額

資料6

科学技術・学術審議会産業連携・地域支援部会
 地域科学技術イノベーション推進委員会(第4回)
 H28.1.29

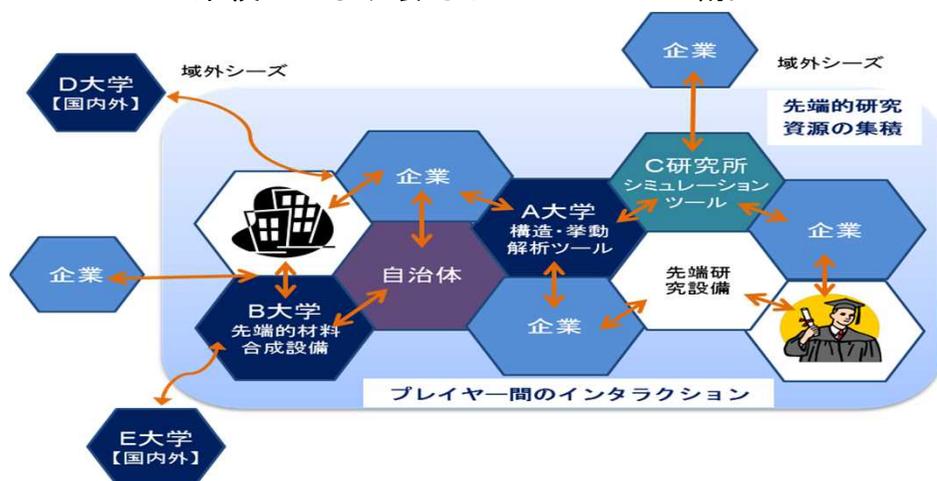
目標 世界に誇るイノベーション創出を目指し、地域に集積する産・学・官・金のプレイヤーが、国内外の異分野融合による最先端の研究開発、成果の事業化、人材育成を一体的かつ統合的に展開するための複合型イノベーション推進基盤を形成し、地方創生にも資する。

特徴

<コンプレックスに集積する世界水準の最先端の研究資源を核としたプレイヤー間の相互作用の強化・成長のための支援>

- コンプレックス(一定の範囲の物理的空間において、大学、研究機関、企業等がそれぞれの活動を融合させ、世界の注目を集める研究開発、成果の事業化、人材育成を一体的に実施するための世界的にも優れた研究インフラ、組織、その他の資源の集積)内でプレイヤー間のインタラクションを活性化させ、コンプレックス全体を成長・発展させる。
- 研究開発、事業化、人材育成を実施するにあたり、各地域の優位性ある資源(人材、技術シーズ、先端研究設備、実証フィールド等)を、統合的に運用するとともに、不足する資源は地域外からも導入する。
- これらの資源を結集し、かつ有効に活用するためのマネジメントシステムを構築・運用することで、地域の優位性を最大限に活かした新事業や新産業及び雇用の創出を行う。

世界トップレベルの大学・研究機関(複数)、企業等の集積による破壊的イノベーションの創出



海外参考事例: GIANT構想

- フランス、グルノーブル市
- マイクロ・ナノテクノロジー分野のMINATEC (Micro and Nanotechnology Innovation Campus)を中心として、エネルギーやバイオテクノロジーの分野も統合した巨大な科学技術研究・技術移転クラスターを形成する。
- 研究者6,000人、学生5,000人、企業関係者5,000人。



世界に誇る地域発研究開発・実証拠点（リサーチ・コンプレックス）推進プログラム 採択拠点

健康“生き生き”羅針盤リサーチコンプレックス

中核機関：理化学研究所
地方自治体：兵庫県、神戸市



<フュージビリティスタディ>

中核機関：北九州産業学術推進機構
地方自治体：北九州市



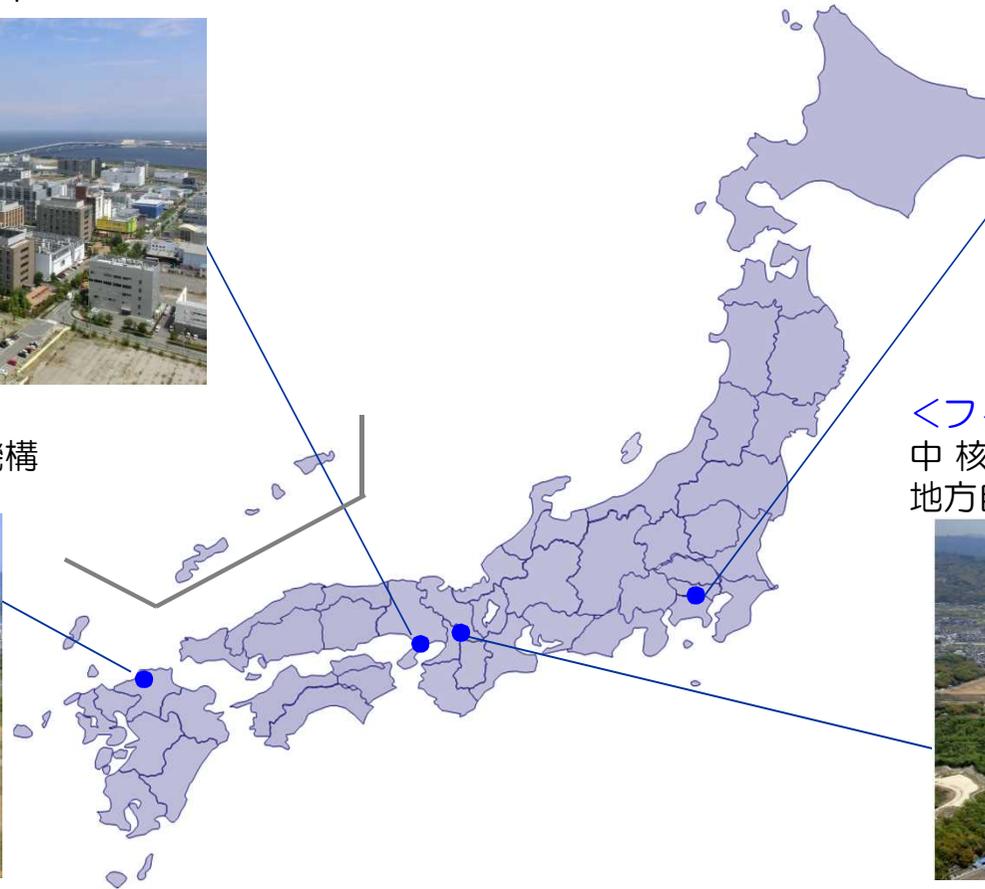
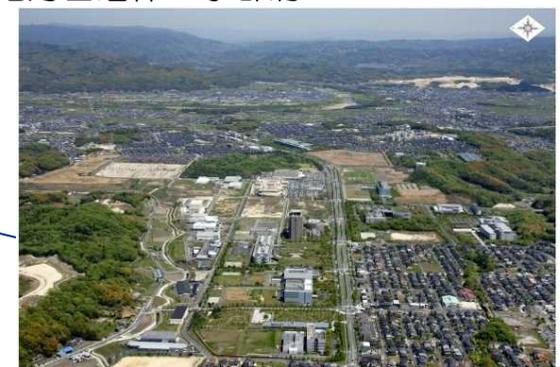
<フュージビリティスタディ>

中核機関：慶應義塾大学
地方自治体：川崎市、神奈川県、横浜市



<フュージビリティスタディ>

中核機関：関西文化学術研究都市推進機構
地方自治体：京都府



<本採択>

- ・支援期間：原則として5年度
- ・支援額：最大7億円／拠点・年

<フュージビリティスタディ>

リサーチコンプレックス構築に向けた計画の実現可能性などについて検証し、計画や戦略の具体化・修正などを行い、平成28年度末までに採択可否を判断